

年 組 名前:

問1

ひばりが丘高校うどん部が優良賞を受賞した大会名称は何ですか。

『 .....  
.....大会』

問2

どのような取り組み・実績が評価されたのですか。具体的に書いてください。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

問3

ひばりが丘高校うどん部の活動について、あなたはどうか書いてください。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

# 「うどん部」全国優良賞

## コロナ禍 定額制で苦境を打開



優良賞を受賞したうどん部の松本七海部長  
＝富士吉田・ひばりが丘高

ひばりが丘高（富士吉田市）「うどん部」が、商業に関する課題を研究・発表する本年度の全国高校生徒商業研究発表大会（全国商業高校協会主催）で5位にあたる優良賞を受賞した。同部が運営する店舗での取り組みを例に、新型コロナウイルス禍で売り上げが減少するうどん店の打開策を紹介した。県内高校が優良賞以上を受賞するのは初めて。

大会は感染防止対策のため、プレゼンテーションの様子を収録したビデオと事前レポートで審査が行われた。同部は本年度、予選にあたる県大会、関東ブロック大会を1位通過し、3年ぶり2回目の全国出場となった。

同部はコロナ禍で客足が遠のき、収益が落ちたうどん店の実態調査結果を発表。調査対象の市内25店の9割以上が前年より収入が落ちたと指摘した。一方で、同部が毎週日曜日に市内スーパリーの一角で運営するうどん店では、月5杯までお得に食べられる定額制（分付スクラクション）や回数券などの導入で、本年度の売上高予測は前年度に比べて14.6%増加したと

（秋田大揮）

（2021年12月20日付 山梨日日新聞 20面）

報告。成果は市内店舗に資料などで伝えたことも発表した。

プレゼンした部長の松本七海さん（19）は「コロナ禍でうどん店が厳しい状況と聞いて、また地域全体で盛り上がってほしい」と話した。

うどん部は2012年に発足し、部員数は現在4人。うどん店を紹介するフリーペーパー「うどんなび」を毎年発行し、富士吉田市うどん観光大使を務めている。